

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年10月17日 (18 : 00～ 19 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・廣田未麻・藤原しのぶ ・山縣友視・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ ・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	8人	4人	1人		13人

前回の改善計画

- ・少人数、短時間で良いので、時間を作り昼のミーティングを開催し情報の収集と集約を図っていく。フロアの見守りなどでミーティングに参加出来なかった職員は今後もその内容を自ら確認するように努め、当日のリーダー職員は必ず一つはミーティングに参加出来なかった職員へ情報発信するようにし全員で習慣化出来る様に取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・少人数であっても昼のミーティングを行うように努め、フロアが見守り等で手薄になってしまう時でも中止にはせず、フロアの隅で集まり情報を聴取する様に工夫をしている。リーダー職員が一人一人に聞き取りを行い情報収集・伝達共有が出来ていた。その中で情報の抜けがあっても職員間で教え合い、皆で補い合う事が出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6人	7人			13人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7人	6人			13人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6人	7人			13人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6人	7人			13人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①、②については事前に得た情報の詳細をミーティングや職員会議にて共有している。又、再確認ができるよう書面にも記載し全職員がいつでも目を通しやすいように掲示している。
- ③、④については慣れてもらうためにリラックスできる環境作りに配慮している。席の位置や声掛けの仕方、本人が好む物(音楽や塗り絵等)を事前に家族から聴取し提供するなど工夫をしている。また職員が間に入り他者とも会話がし易い状況を作るなど工夫を凝らし、職員や施設の雰囲気に馴染んでもらえるようにしている。
- 施設での様子や訪問時の様子も家族と顔を合わせる際は直接報告し、会えない家族については連絡ノートやメールなども活用し文章でも情報交換をしている。信頼関係を構築していくと共に、日々の困りごとや不安を聞き出し気兼ねなく相談できるように努力している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用開始までに日が僅かであったり、家族も遠方であると細かな情報が得られず情報収集が不十分だと感じる事があった。
- 利用まもない時は不安を軽減できるよう配慮しているが、個別で対応できる時間が少なく詳細の情報収集が足りていないと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・昼のミーティングについては以前別室で行っていたが、現在は見守りを行いながらフロア内で実施している。フロア内で実施する事で見守りをしていた職員もミーティングに参加する事ができ、個人情報にも配慮しながら短時間で実施ができている。
- 毎日のミーティングは必ず実施し、日々の関わりからも新たな情報を得られるように努力し職員間で情報の伝達と共有を密に行く。特に利用直後はレクリエーションや介助時など短い時間であっても、言動や表情からも相手を知り想いを汲み取り次のケアに活かせるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年10月17日（ 18： 00～ 19： 00）
2. 「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・廣田未麻・藤原しのぶ ・山縣友規・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ ・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	6人	6人	1人		13人

前回の改善計画	・今後も毎月実施している各利用者の個人ファイルの情報確認とケアプランの掲示は継続し、本人の気持ちを理解・知る努力を行って行く。 ケアプランの掲示も個人情報の扱いに注意をしながら、スタッフルーム内の職員の目にはいり易い場所に掲示するなど工夫をする。業務に入る前に目標の確認をしてフロアに入る事で、意識をしながらケアプランに沿ったサービス提供が出来る様にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・引き続き個人ファイルの確認、ケアプランの掲示を毎月2～3名ずつ行い個人のニーズや目標を確認する事ができた。又、確認した職員はサインをするようにした事で、確認不足は減少している。 意識を持ち日々関わるなかでその人のプランに沿ったケアができるよう心掛けた。職員会議内でケアマネジャーよりプランの変更等も都度伝達されるため、より理解が深まりサービス提供に反映する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	6人	7人			13人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	6人	7人			13人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	5人	7人	1人		13人
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	6人	7人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①、②、③については個々のケアプランで確認、理解するようにしている。又、スタッフルームに毎月2～3名の利用者を対象により詳しいケアプランを掲示しいつでも再確認できるようにすることで、理解をした上で関わることでケアに活かせるようにしている。関わった内容は介護記録に記入し、日々のミーティングで報告、連絡、相談をしている。 家族とも密に情報交換をするように努め、得た情報を共有しその情報から対応方法を検討する事でその人に合ったサービスを過不足なく提供できるようにしている。 ④についてはミーティング等で気づきを情報発信し共有がなされ、適宜対応が適切であるか皆で振り返りが出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・スタッフルームに利用者の目標を掲示しているが、業務に追われてしまいプランに沿った関わりや記録ができていない時があった。 本人の想いを引き出せるような関わりを心掛けているが、認知症もあり得た情報が正しいものであるのか分からないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・毎月2～3名ずつ実施している利用者のケアプランの掲示と個人ファイルでの情報の把握は引き続き行い、本人の気持ちを理解し知る努力をする。又、得た情報が不明瞭であってもその言動の背景を探り本人の想いを汲み取るようにしていく。 利用者に関わる際には短時間であっても、～したいを引き出せるように個々にあった雰囲気や会話を行うことで日々のケアに活かし次の支援に繋げる。又、日々のケアにおいて本人の目標を意識しながら関わるよう心掛ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

2025年10月17日（ 18： 00～ 19： 00）

3. 日常生活の支援

メンバー

・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・廣田未麻・藤原しのぶ
・山縣友視・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ
・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	8人			13人

前回の改善計画

・今後も家族と関わる際は直接話すだけでなくメール等も活用し新しい情報が得られる様に連携を図り、また信頼関係が築けるようにする。
より深く利用者の想いを把握・理解するため、個別ケアの時間も活用し関わりから本人を知る努力を継続し行う。
得た情報はミーティングなどを通じ職員間で共有すると共に、対応方法を全職員で検討し気持ちに沿ったケアが出来る様にしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・電話やメール、連絡ノートや送迎時の時間なども活用し日々の気づきを報告したり双方が相談し合える関係性の構築に努めた。家族や本人から知り得た情報はミーティングや日報（送り簿）などで共有し、一人一人に合わせたケアを行えるように日々の様子を観察している。利用者の言動からも、想いを探るように努め対応についても適宜話し合いケアの提供へ繋げている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	5人	7人	1人		13人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	10人	3人			13人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	5人	7人	1人		13人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7人	6人			13人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	5人	8人			13人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①については日々のケアを通してや家族、本人からの情報により把握ができセンター方式やアセスメントシートを用いより理解するようにしている。
②については毎日の体調を観察し、その時々に合わせて介助を行っている。食事においては個々に合わせた食器、量や形態で提供し異性による排泄や入浴介助にも配慮している。
③、④、⑤については当日のリーダー職員へ毎日の特記や気づきを報告し、ミーティングなどで皆で共有ができています。些細な変化や言動も記録することで、当日出勤職員以外にも共有がなされている。又、ケアマネジャーを中心に適宜話し合いをおこない個々の変化に応じたケアが提供できるようにしてる。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・場面場面ではケアプランに沿った個人に応じた対応ができていても、24時間の様子まで全てを把握できている訳ではない。本人の発言が全て確実であるとは言いきれず不明な点も多くある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・本人の真の想いに気づけるように日々の様子を観察し、些細な事でも家族へ伝えお互いが情報を共有することで信頼関係をより深められるようにする。
個人が知り得た情報でもミーティングで発信し介護記録へも記入することで、全職員で共有すると共に利用者の気持ちを汲み取り一人一人に合った個別ケアが出来るようにしていく。又、言語化しにくい職員がいれば先輩職員へも相談するよう周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年10月17日（ 18： 00～ 19： 00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口眞由美・廣田未麻・藤原しのぶ ・山縣友視・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ ・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	4人	9人			13人

前回の改善計画	・毎月実施している利用者の個人ファイルの情報確認と、センター方式の変更・追加事項の記入は継続し行っていく。 ・関わる中で利用者と家族からの必要とされるニーズを抽出し、想いを知る努力を続けケアに反映させて行く。 新たな情報を得るために、利用者本人だけでなく家族や近隣住民等ともコミュニケーションを取り交流を 図り関係性を深められるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・毎月の利用者の個人ファイルの確認は出来ているが、センター方式の追加記入は詳細までは出来ていないように思う。個人の 情報確認を実施する事で、改めて利用者の情報の把握ができ関わりやケアに活用する事が出来た。家族や本人から新しい情報が 引き出せるに努め、遠方でなかなか会えない家族へは手紙などでも近況を伝えるなど関係を深められるように努力をした。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	4人	8人	1人		13人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3人	10人			13人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	3人	10人			13人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3人	9人	1人		13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については本人や家族からの情報や個人のセンター方式、アセスメントシートから把握、理解に努めている。 ②、③については送迎時などの時間も活用し家族から自宅での様子や変わった事がなかったか等、少しの変化も見逃さず情報収集するようにしている。関わるなかで本人からも聴取するようにし、情報が不確かであっても発言の真意を探るようにしている。 馴染みの病院への受診介助や、外出の援助等地域との関係性が継続するよう支援している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・生活スタイル等おおまかな情報は家族や本人から得て理解、把握ができていますが個々の地域との関わりにおいてはまだ情報収集が不足している。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・現在は職員一人に対し利用者2～3名ずつの担当制とし、担当者が得た情報をセンター方式に追加記入を行っている。気づきなど直接関わった職員が記入するように変更する事で、各利用者のセンター方式の情報を増やしていき職員間で共有し個人を知る努力を続ける。 送迎時等、近隣の方と顔を合わせる際は挨拶やいつもと変わった様子がないかなどこちらから積極的に声掛けをするようにし信頼関係を育めるようにする。又、今後も地域のイベントには利用者と共に参加し利用者と地域が関わる機会を作っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年10月17日（ 18： 00～ 19： 00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口眞由美・廣田未麻・藤原しのぶ ・山縣友規・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ ・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	8人	1人		13人

前回の改善計画	- 引き続き地域密着委員会等を中心にイベントなどを通じ、地域住民との距離を少しずつでも縮められるよう交流を深めて行く。ホームページや回覧板を活用し情報発信も続け、事業所を知ってもらう努力も継続しおこなって行く。 又、各利用者の状態に応じて何を支援すべきか全職員で都度話し合い支援方法の変更も視野にいれ対応をして行く。関わりから本人と家族のニーズを汲み取り、対応に活かす事でより良い援助ができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 継続し地域密着委員や運営推進会議、行事などを通じて地域住民との関係性の構築に努めた。ホームページでの行事の紹介も都度行い、回覧板へ金比羅通信（広報誌）を定期的に掲載し事業所のアピールもおこなう事が出来た。日々変化する各利用者の状態やニーズに応じて、職員間で対応方法を検討し柔軟な対応が来ている。 - 家族と会う機会がある時は自宅での様子や変わりがないか等、情報収集を行った。些細な事柄からも新たな情報を得る努力をし、個々に合ったケアが提供できるよう取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3人	9人	1人		13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8人	5人			13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6人	7人			13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5人	8人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②、③、④については利用者や家族のニーズを把握し、事業所として可能な限りすり合わせをしその時に応じた柔軟な対応をしている。家族の急用や本人の急な体調不良等の緊急時も適宜予定の変更をし「通い」「宿泊」「訪問」の臨機応変な対応ができています。状態変化があった際も本人や家族と面談など話し合いをする機会も設け、随時ケアプランの見直しやニーズの再確認をしている。日々の関わりから、個々の小さな変化にも留意しミーティング等で情報共有している。又、その情報は家族にも伝達しその後の自宅での様子も聴取するようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
- 事業所のイベントは定着しつつあり、交流する事ができている。事業所を知ってもらうためにも今後もその活動を継続していく事が大切だと思う。 - その日の特記事項は日報（送り簿）へ記載がされているが、些細な状態変化については記載が不十分で共有が出来ていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
- 今後も運営推進会議や地域密着委員会を活用し、イベントや通勤時の挨拶なども通じ関係を育む努力をしていく。又、地域資源の把握と活用にも努め、事業所を知ってもらうためにも広報誌やホームページを利用し活動内容のアピールを継続していく。 又、個々の職員からも地域資源を活用した行事の提案をしてもらう。 - 利用者の変化を感じた時はまずは個人の介護記録へ記入するようにし、毎日のミーティングで個々の職員が発信し周知を図る。送迎時など家族とも情報交換し密に連携を取ることで、日々変化する利用者それぞれに合った援助ができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年10月17日（ 18： 00～ 19： 00）
6. 連携・協働	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・廣田未麻・藤原しのぶ ・山縣友視・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ ・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	9人			13人

前回の改善計画	・今後も地域密着委員会を中心に施設開催の活用品バザーやオレンジカフェへの参加、保育園児との交流などイベントを通じて地域の方と触れ合える場面を増やし関係性の構築に努めて行く。 ホームページや回覧板を活用し情報発信も続け、事業所を知ってもらおう努力をし地域に根ざした事業所を目指して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事業所主催のイベント（活用品バザー・海峽花火大会時のホールの開放等）では地域住民が施設を訪れ交流する事が出来ている。その他にこども園との交流や、子供神輿の来訪、オレンジカフェなど少しずつであるが以前より親交を深める機会が増えている。事業所の情報発信も継続しているが、施設を知ってもらい関係を育んで行くには継続して活動して行く事や時間が必要だと感じる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5人	7人	1人		13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3人	9人	1人		13人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4人	9人			13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3人	10人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については、管理者やケアマネジャーを中心に各事業所やサービス機関と連携を取り、得た情報はミーティングや職員会議内で発信し情報の共有ができています。 ②、③、④については2ヶ月に一度運営推進会議を開催し、家族や地域住民、地域包括センターの方の出席もあり意見や情報交換を行っている。施設でのイベントや地域のイベントなど以前より交流する機会も増えており、施設へ地域の方や子供が来訪した際は親交を深められるように努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域住民と触れ合い、交流できるイベントが以前より増えて顔を合わせる機会も増えているが連携と言えるにはまだ活動を継続していく事が大切だと思う。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・今後も運営推進会議や地域密着委員会を通じて、例年開催している施設開催のイベントや（活用品バザー等）オレンジカフェ、文化祭などの地域のイベントにも利用者と一緒に参加し地域の方とコミュニケーションを取っていく。 通勤時などの挨拶や些細な事からでも関わりが深められるように努め、ホームページや広報誌での事業所の活動の情報発信も引き続きおこない信頼関係の構築に繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年10月17日（ 18： 00～ 19： 00）
7. 運営	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・廣田未麻・藤原しのぶ ・山縣友視・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ ・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	9人	1人		13人

前回の改善計画	- 引き続き地域密着委員会等を中心にイベントなどを通じ、地域と交流を深めて行く。ホームページや回覧板を活用し情報発信も続け、事業所を知ってもらう努力をし地域に根差した事業所を目指して行く。 - 今後も事業所に関することや、よくある問い合わせについて勉強会のテーマに取り上げ知識を得る機会を作り、全職員で利益向上に向け携わって行く。 又、特定の職員だけが対応するのではなく、どの職員であっても同じ対応が出来る様に実際に見学者の対応等、個々が経験を積んでいくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 地域密着委員会を中心に活用品バザー等を企画し地域住民との交流を図った。行事や取り組みをホームページなどで発信する事により身近な事業所として感じてもらえるよう努力をした。 - 勉強会や日々の業務から事業所への理解を深め、体験を通じて個々の職員が成長できるよう実際の見学者の対応を行う機会を設けた。又、業務の効率化についても適宜職員で話し合い業務内容の変更・改善にも取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4人	8人	1人		13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	10人			13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	10人			13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	3人	10人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については個々が感じた事は、その場でまたミーティングや職員会議の折に発信しやすい雰囲気もあり風通しの良い職場環境ができている。 ②、③、④については苦情や意見は管理者やケアマネジャーを中心に皆で打開策を検討し、それを即時周知徹底をしている。事業所内で解決が難しい場合においては、上司や本部へ相談し指示を仰ぐようにしている。 地域や施設開催のイベントなど、地域密着委員を活用し地域の方との親交が深められるように活動をしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域密着委員会を通じ、イベントなどから地域住民と交流できる機会も増えている。地域から必要とされる拠点となるように様々な活動を継続しているが、地域の方と協働した取り組みは少ないように感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 今後も運営推進会議や地域密着委員会を通じて、例年開催している施設開催のイベントや(活用品バザー等)オレンジカフェ、文化祭などの地域のイベントにも利用者と一緒に参加し地域の方と親交を深めていく。通勤時などの挨拶や些細な事からでも関わりが深められるように努め、ホームページや広報誌での事業所の活動の情報発信も引き続きおこない信頼関係の構築に繋げていく。 - 事業所に関することを勉強会で取り上げ、更に個々の知見を深められるようにする。見学者対応等まだ特定の職員が対応することも多いため全員で携わるようにし、事業所の運営や業務改善についても都度職員間で対策を講じ改善に向け取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年10月17日（ 18： 00～ 19： 00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・廣田末麻・藤原しのぶ ・山縣友視・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ ・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	9人	1人		13人

前回の改善計画	・研修の案内があった時は、全職員が目を通し易いように掲示していく。又、管理者があらかじめ各外部研修の参加職員を経験年数等から決め、早めに勤務調整を行うことで気兼ねなく研修に参加が出来るようにする。 ・研修に参加した場合は、引き続きその資料などをファイリングするとともに毎月の勉強会等で報告・勉強会のテーマにするなど他職員へ学んだ事を伝える機会を設け職員の意識の向上を図って行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修の案内は誰でも目を通しやすいようにスタッフルームにファイリングや掲示をしている。管理者が参加して欲しい職員へ声を掛け勤務調整することにより学びの機会が確保できた。 ・事務所内に個々の参加した研修資料等をファイリングし誰でも閲覧できるようにし、学んだ事は実務に活かしている。勉強会等での報告までは出来なかったが、研修で得た知識を取り入れた内容にすることで周知を図った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5人	8人			13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	9人	1人		13人
③	地域連絡会に参加していますか	3人	8人	1人		13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5人	8人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①、②については毎月職員会議後に勉強会を実施している。その時必要と思われるタイムリーなテーマを取り上げ、各職員が講師となり時にはロールプレイングを交えながら実践に活かしている。学ぶと共に、日々の業務において反省点がないか等振り返りもでき、皆で改善策を考える事で業務に反映させている。 ④については事故対策委員会を中心となり、現状で直面しているリスクや今後想定されるリスクも洗い出し事例検討も交えながら対応策を検討している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・外部研修については参加ができた職員もいたが、研修の人数制限もあり参加がかなわなかった職員もいた。又、個々で研修への参加の意欲に差がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・継続し経験年数等から研修に参加して欲しい職員に管理者から積極的に声掛けし外部研修への参加の意識を高め個々のスキルアップを図っていく。 研修に参加した時は資料をファイリングし全職員に回覧する。ミーティング時や職員会議内・勉強会で研修内容について報告する機会を設け、知り得た知識が共有できるようにし全体のレベルアップが図れるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年10月17日（ 18： 00～ 19： 00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・廣田未麻・藤原しのぶ ・山縣友祝・張光利治・下道猛・小瀬良志織・鹿子島みなみ ・水野正宏・磯野久美・中井ミエ子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	6人			13人

前回の改善計画	- 今後も職員会議や勉強会で定期的に取り上げ、職員の意識が希薄にならないように自身の行動を振り返る場を設け個々が認識を深めていく。 - 利用者の意思を尊重した対応を常に意識し、職員同士がその場で注意しあうなどチーム全体の意識強化や新たなスキル・知識の向上も図って行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 職員会議や勉強会で定期的にテーマに挙げ取り組む事によって、繰り返し自身の言葉かけや行動を振り返る事ができた。職員間での声掛けによっても意識向上に繋がっていると思う。 - 職員本意のケアをしていないか、利用者の尊厳が守られているか、日々のミーティングでもケアについて話し合いを行い対応方法なども皆で考え業務に活かすようにしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7人	6人			13人
②	虐待は行われていない	7人	6人			13人
③	プライバシーが守られている	5人	8人			13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4人	9人			13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5人	8人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①、②、③については勉強会や職員会議内でテーマに挙げ都度日々の自身の対応がどうであったか振り返り、理解を深め予防に繋げている。職員間でも業務中に声掛けをしあう事で、注意喚起をおこない個々でも留意するように心掛けている。 ⑤については個人の情報が記載されている書類等、他者の目に入る場所へは持ち出さないようにし毎日記入している介護記録も利用者の目にふれない所で記入するようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
以前はフロアから離れたスタッフルームで昼のミーティングをしていたがフロアを見守りする職員が手薄になってしまう事もあり、現在はフロア内の隅(利用者の見守りができ、かつ声が聞こえづらい位置)で行っている。個人が特定できないように名前の使用もさけ実施する場所にも注意は払っているが、声が大きくなってしまい情報が聞こえているのではないか、配慮が足りていないと感じる場面があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 引続き勉強会や職員会議で人権やプライバシーについて定期的に取り上げ、各職員が自身の利用者への対応の仕方や言動について振り返りができる機会を設ける。業務中で気づいた事がある時は、即自改善できるようその場で注意しあい対応方法を全職員で考えて行く。 - 個々が勉強会や日々のケアから知識や理解を深め、職員主体のケアにならないように全体のスキルアップを図り全員で取り組んで行く。	